

トランプ氏支持のベトナム系社会



松井 聡

最大で300万人が犠牲になったベトナム戦争の終結から4月末で50年を迎えた。共産主義を掲げた「北ベトナム」に敗れた反共産主義の「南ベトナム」からは、後ろ盾となっていた米国に多くの人が逃れた。現在、米国のベトナム系住民は約240万人に上り、西部カリフォルニア州や南部バージニア州などにコミュニティがある。

米国のアジア系住民は、移民に寛容で多様性を重視する民主党の支持者が多いが、例外的にベトナム系は保守的な政策の共和党の支持者が多いとされる。共和党の方が共産主義に対して強硬な姿勢だと考えられていることなどが背景にある。共和党のトランプ政権の発足から100日が過ぎ、2024年の大統領選でトランプ氏に投票したベトナム系の人々は、政権の政策をどう見ているのだろうか。

首都ワシントンの中心部から10キロ超離れたバージニア州の郊外に、ベトナム系の飲食店や商店が集まる商業施設「エデンセンター」がある。トランプ氏

は24年8月、大統領選の選挙運動でここを訪れ、ベトナム系住民に対して支持を訴えた。

「トランプ氏は不法移民対策で本当によくやっている。我々も移民だが、不法ではなかった。治安の悪化につながる不法な移民は許されるべきではない」。保険代理店経営の60代女性は熱っぽく語る。

女性には1975年に米国に移住して以来、一貫して共和党を支持してきた。「米国第一主義」を掲げるトランプ政権になって共和党を支持する思いは一層強くなったという。「米国第一は人種に関係なく、全ての米国民にとって恩恵がある」と断言する。

一方、トランプ氏への投票を悔やむ人もいる。40代の公務員の男性もその一人だ。「正直なところ、トランプ政権はやり過ぎだと思う。特に関税政策はあまりにも急進的で、社会が大混乱している。物価高騰も懸念材料だ」

両親をはじめ周囲は共和党の支持者が大半で、自身も大統領選では常に共和党の候補者に票を投じてきた。だが、「友人と話していても同じ意見の人は多い。従来、若年層では民主党支持者が増えていたが、トランプ氏が理由で今後共和党の支持から離れる人も多いと思う」との見方を示した。